

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良市			代表者名	仲川 元庸
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部 DX推進課	連絡先電話番号	0742-34-4722
担当者役職	主務	担当者氏名	河口 ゆり子	連絡先E-mail	
住所	630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	BPR(業務改革)の取り組み		
概要	一般職員が政策形成に関しチャレンジと継続しやすい環境を構築するため、また、それにより市民サービスの充実を図るため、管理職へデジタルマインドの醸成を行い、業務プロセスの見直しや新たな手法の取り入れなど、抜本的な業務改革につなげたい。そのための、管理職に向けた講演会を実施していただきたい。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	210	令和6年10月21日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月16日	講演(実地)	10時00分	16時30分	210
			活動時間(分)	180	
2-2. 派遣場所	会場名	奈良市役所	最寄駅	新大宮	
	所在地	奈良市二条大路南一丁目1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">デジタルに対して苦手意識の多い管理職に、専門用語ではなく、わかりやすい言葉で講義いただいたことで、管理職への意識改革につながった。具体事例をもって業務改善の取組を紹介していただき、DXがデジタルより人(変革への意欲と行動)が肝要であることがよくわかった。講話だけでなく、ツール(slide)を使用してオンライン上で匿名ディスカッションを行うことで、受講者の率直な意見を聞くことができた。受講者からの質問に対し、講話時間終了後も丁寧に回答していただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	115人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	115			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員のDXに対する意識は年々高くなってきているが、デジタル化と自発的・継続的にBPRに取り組む重要性への意識に管理職を含め、職員間で意識のバラつきが見られる。デジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービス向上が図られることを自分事として認識し、それらの活用方法や取り入れ方、またデジタル技術以外の業務改革についても実行に移すことができる意識改革が大きな課題となっている。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員がデジタルへの苦手意識を克服し、自発的・継続的に業務改革に取り組む重要性を理解し、意識格差が軽減されることにより、行政手続オンライン化等の取組を進め、市民生活の利便性向上につなげる。また、デジタル技術の活用はあくまでも手段であることを理解し、業務プロセスの見直しや新たな手法の取り入れなど、抜本的な業務改革につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	管理職のデジタルマインドの醸成及び抜本的な業務改革につながる講演会を実施。浜松市や他市町村の成功事例や失敗事例を紹介し、デジタルにこだわらず、改革を進める気持ちの大切さ、管理職としての役割、および改革のための具体的な方法を教えていただいた。また、ツール(slide)を使用してオンライン上で匿名ディスカッションを行い、受講者の率直な質問や意見に対応いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	管理職がDXに対する苦手意識を克服し、業務改革に向けて管理職としての役割を理解し、前向きに取り組もうとする姿勢が感じられた。また、DXを推進する上で、管理職には部下がチャレンジできる環境と、継続可能な体制を整えることの重要性を意識させることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 ・受講した管理職職員のDXに対するマインドセットの変革
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添参照	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 全職員のDXに対する理解を深め、抜本的な業務改革につなげる。 今回の研修を横展開し、職員間の目標や課題の共有を行い、具体的な業務改革やプロセスの見直しに結び付ける。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員が自発的・継続的に業務改革に取り組むことで、行政手続オンライン化、窓口改革等の取組が進み、職員の業務効率化と市民生活の利便性向上につなげる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

